

令和5年度第1回江別市未来型政策検討委員会

会 議 録

令和5年4月27日（木）

江別市民会館 21号室

江別市未来型政策検討委員会事務局

（江別市企画政策部デジタル政策室）

目 次

1. 委員紹介	2
2. 開会	2
3. 議事	
(1) 江別市DX推進方針（素案）について	2
(2) パブリックコメントの実施について	4
(3) デジタル田園都市国家構想推進交付金に係る進捗状況について	4
4. その他	7
5. 閉会	8

令和5年度第1回江別市未来型政策検討委員会

1. 日 時 令和5年4月27日（木） 15時00分～15時30分

2. 場 所 江別市民会館 21号室

3. 出席者 江別市未来型政策検討委員8名、江別市9名（事務局含む）

江別市未来型政策検討委員会 (◎委員長)		
番号	氏 名	所 属
1	北川 裕治	江別商工会議所
2	布施 望	道央農業協同組合
3	川口 圭太	江別市社会福祉協 議会
4	佐藤 誠一	江別市自治会連絡 協議会
5	◎明神 知	北海道情報大学
6	渡邊 慎哉	札幌学院大学
7	佐藤 和夫	酪農学園大学
8	干野 里佳	市民公募
出席 8 名		

江 別 市 (事 務 局)		
番号	氏 名	所 属
1	川上部長	企画政策部
2	伊藤次長	企画政策部
3	堂前室長	企画政策部 デジタル政策室
4	天明屋参事	企画政策部 デジタル政策室
5	池田参事	企画政策部 デジタル政策室
6	坂口主査	企画政策部 デジタル政策室
7	鈴木主査	企画政策部 デジタル政策室
8	木村主査	企画政策部 デジタル政策室
9	初瀬尾主任	企画政策部 デジタル政策室
出席 9 名		

※江別工業団地協同組合 龍田 昌樹委員、江別市小中学校校長会 佐藤 貢委員、
江別市PTA連合会 長谷川 伸委員、北翔大学 浅井 貴也委員、
市民公募 鈴木 秀明委員は欠席

4. 傍聴者数 0名

1. 委員紹介

●事務局

本日は、大変お忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

「令和5年度第1回江別市未来型政策検討委員会」の開会に先立ちまして、今年度より新たに委員になられた方を紹介いたします。

江別市小中学校長会 佐藤貢様

佐藤委員は、吉田委員の後任となりますが、本日はご欠席となっております。

それでは、以降の進行は委員長をお願いいたします。

2. 開会

●事務局

それでは、「令和5年度第1回江別市未来型政策検討委員会」を開会いたします。

江別工業団地協同組合の龍田昌樹委員、江別市小中学校校長会の佐藤貢委員、江別市PTA連合会の長谷川伸委員、北翔大学の浅井貴也委員、市民公募の鈴木秀明委員は欠席のご連絡をいただいております。

なお、当会議における各委員の発言内容につきましては、市民参加条例に基づき作成した議事録を、事前に委員の皆さまにご確認いただいた上で公開することといたしますので、予めご了承願います。

3. (1) 江別市DX推進方針（素案）について

●明神委員長

次第に従いまして、議事の『(1) 江別市DX推進方針（素案）について』、事務局より説明願います。

●事務局

それでは、江別市DX推進方針（素案）について、ご説明いたします。

資料1をご覧ください。

こちらの素案につきましては、昨年1月19日に開催された江別市未来型政策検討委員会において、江別市DX推進方針の骨子案をご提示させていただきましたが、委員の皆様から頂いたご意見等を踏まえ、作成したところであります。

1ページめくっていただきまして、1の背景と目的、2の(1)構成については、記載のとおりとなっております。

2の(2)期間につきましては、デジタル技術の進歩は非常に早く、目まぐるしく状況が変化するため、期間を定めず、国の動向等を注視しながら、必要に応じて適宜見直しをしていくこととしております。

次のページ上段では、策定の視点を示しております。

ページ中の「トピック」の記載は、前回の委員会において、委員のみなさまから頂いたご意見を見やすい形で掲載しており、以降のページも同様に記載しております。策定の視点については、内容について問題ないとのご意見をいただいております。

①市民目線で考えるデジタル化

②行政サービスの見直しによる市民の利便性向上に資するデジタル化

③職員の業務効率の向上、働き方改革に資するデジタル化

④地域全体で進めるデジタル化

の4つの視点を盛り込んだ方針としております。

下段の4の本方針の位置付けについては、記載のとおりです。

次のページ5のビジョンですが、DXの推進は、本市が抱える人口減少や少子高齢化、市民サービスの向上などの課題を解決するために必要不可欠であり、前回の委員会において、「行政と市民が一体となって」取組を推進していくべきとのご意見を頂いたことを受け、「地域全体」で本方針の取組を推進していくことを記載しています。

また、「市が目指したい姿を明確に」というご意見も頂いており、デジタル化の恩恵を子どもから高齢者まで受けられることを目指し、「いつまでも暮らしやすく、便利で快適なまち」をビジョンとして掲げております。

そのビジョンを実現するため、

- ①市民の日常生活を豊かに
- ②市政業務の効率化
- ③新たな価値の創造
- ④DX推進に係る環境整備

を基本方針に掲げ、地域全体のデジタル化を推進していくこととしております。

下段6の基本方針と取組事項では、4つの基本方針ごとに国が定める重点取組事項や市独自の取組事項を整理しております。

詳細につきましては、次ページをご覧ください。

7の具体的な取組事項と工程表①についてご説明します。

基本方針「市民の日常生活を豊かに」においては、前回の委員会で、「行政手続のワンストップ化」に関するご意見を頂いておりますが、自治会のデジタル化、情報発信のデジタル化、公共交通のデジタル化、母子手帳のデジタル化、行政手続のオンライン化の5つを取組事項として記載しております。

基本方針「市政業務の効率化」では、情報システムの標準化・共通化、AI・RPAの推進、ペーパーレス化の3項目を取組事項といたしました。

下段の基本方針「新たな価値の創造」では、オープンデータの推進、生涯健康プラットフォームの推進、スマート農業の3項目を取組事項として掲げ、

基本方針「DX推進に係る環境整備」では、セキュリティ対策の徹底、テレワークの推進、デジタルデバイド対策の3項目を取組事項としております。

資料の右側には令和5年度から令和7年度の工程表を示しており、内容につきましては、各項目に関連する所管課と調整し、「検討」、「実証」、「実施」などの表現により、今後3年間のおおよそのスケジュールを記載しております。

次のページの上段をご覧ください。8の推進体制につきましては、ビジョンの実現に向けて、市は本方針の推進にあたり、中心的な役割を担い、方針の具体的な取組を率先して推進するとともに、江別市未来型政策検討委員会や外部人材と連携を図りながら、取組みを推進してまいります。

下段以降は、専門用語などを解説する用語集となっております。

なお、素案につきましては、本日の委員会で審議いただいたのち、5月から6月にかけてパブリックコメントを実施した上で、7月に成案として取りまとめる予定であります。

説明は以上です。

●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

《質疑なし》

●明神委員長

質問はありませんでしたので、以後の調整については、私と事務局に一任していただければと思いますがいかがでしょうか。

《異議なし》

●明神委員長

では、私と事務局で最終調整したものをDX推進方針の素案とし、パブリックコメント実施前に、皆さまにも郵送でお示しするという手順とさせていただければと思います。

ありがとうございます。

3. (2) パブリックコメントの実施について

●明神委員長

それでは、『(2) パブリックコメントの実施について』事務局より説明願います。

●事務局

それでは、パブリックコメントの実施について、ご説明いたします。

資料2をご覧ください。

目的については、「江別市DX推進方針素案を広く市民に公表し、市民から広く意見等を求め、提出された意見等を考慮して方針を策定するため」としています。

実施期間については、令和5年5月26日の金曜日から令和5年6月26日の月曜日までとしています。

提出方法については、持参、郵送、ファクス、電子メールおよび電子申請としており、後日、市ホームページ等で周知する予定です。

配置場所については、市役所別館2階のデジタル政策室窓口をはじめ、各公民館など、記載のとおりとなっております。

説明は以上です。

●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

《質疑なし》

3. (3) デジタル田園都市国家構想推進交付金に係る進捗状況について

●明神委員長

それでは、『(2) デジタル田園都市国家構想推進交付金に係る進捗状況について』事務局より説明願います。

●事務局

「デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に係る進捗状況」についてご説明いたします。資料3をご覧ください。

1ページめくっていただいて、上段には、デジタル田園都市国家構想推進交付金採択事業であります「生涯健康プラットフォーム推進事業の概要」について記載しております。

背景としまして、当市では、平成21年から北海道情報大学が実施する、『食の臨床試験システム「江別モデル」』の取組を支援してきたことに加え、平成29年4月には、「健康都市宣言」により、江別市は、全ての市民の健康意識の向上と、健康づくりの推進に努めていくことを宣言し、健康に関する様々な取組を進めてきているところであります。

そのような環境の中、江別市がこれまで実施してきた健康に関する取組を、国の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用することでデジタル化し、「健康寿命の延伸」や「医療費の適正化」に結び付けていこうとするものであります。

下段には、事業イメージを掲載しております。

生涯健康プラットフォームは、スマートフォンで各種サービスを利用していただく仕組みとなっております。この度、3つのアプリケーション、「eダイアリー」、「eライフトレーナー」、「生涯健康マルシェえべつ市場」を構築いたしました。

後程、各アプリの内容を説明させていただきます。

まず、各サービスを使用するには、事業イメージの一番上に記載しているめぶくIDを取得していただき、そのIDで使用するようになります。

次のページに進んでいただきまして、本サービスを利用するために必要なめぶくIDについて、記載しております。

めぶくIDは、群馬県前橋市が構築したデジタルIDでありまして、資料にもありますとおり、パーソナルデータを自分自身で管理できる「安全・安心・便利」なIDとなっております。このめぶくIDを江別市でも採用したところでもあります。

めぶくIDのセキュリティについてですが、国から発行された偽造のできない身分証明書である「マイナンバーカード」で、本人確認をした上でIDが発行され、安全なポイントとして、「国から認定された機関が発行したIDである」、「IDを使うことで個人情報のやりとりがないため、匿名性が担保される」、「強固ななりすまし対策を実現した技術を採用」していることで強固なセキュリティが実現しております。

次のページからは各アプリケーションの説明になります。

まずは、各サービスの入り口になる、健康記録アプリのeダイアリーです。

eダイアリーは、「記録の習慣化」により、健康維持・増進をサポートするアプリです。

自分の健康状態を記録し、それを習慣化することが、健康改善への第1歩であると考えており、手軽に自分だけの健康ログをためることができます。具体的には、記載のとおり、毎日の日記や食事の記録、運動等の記録を管理することができます。

資料下段では、健康の記録を手助けするスマートウォッチ「eウォッチ」についてですが、eダイアリーと連動しておりまして、eウォッチで取得したデータ、歩数や摂取カロリーや睡眠時間などに加えて、体調の自己評価や食事の記録を入力することができます。

次のページでは、eダイアリーから利用できるサービスである、eライフトレーナーについてです。

eライフトレーナーについては、食の臨床試験をはじめとする、これまでの北海道情報大学が培ってきた研究開発成果を活用しております。

こちらのアプリでは、ご自身の血圧や体重、血液検査などの結果や食習慣、健康情報をアプリ一つで管理・閲覧することができます。

具体的には、カロリーの管理、AIによる健康サポート、食事バランス、ストレス状態をチェックする機能など搭載されております。

次のページでは、もう一つのアプリである、生涯健康マルシェえべつ市場です。こちらは、いわゆるショッピングサイトのイメージですが、健康を意識したヘルシー

Do認証の食品や、その他江別産の食材などの販売を行います。

具体的には、健康維持や増進に役立つ食品、安心安全にこだわって作られた食品、ヘルシーDo・機能性食品などの認証食品、地域産の食材使用など、配慮のある商品を販売する予定としております。

以上、事業概要を説明させていただきましたが、生涯健康プラットフォームをとおして、デジタル技術を活用したサービスを提供し、一人一人の健康状態に合ったサポートを行うことで、包括的に市民の方々の健康づくりの一助になると考えております。

説明は以上です。

●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

●佐藤（誠）委員

めぶくIDの登録をしようとしたのですが、登録できませんでした。

指示通りに入力しても、登録できたかどうか表示されないため、できたのか、できていないのか、混雑していて待っている状態なのかがわかりません。このように入力がうまくいかないこともあるので、スムーズにできない人に対して、問い合わせ先のようなサポート体制があればいいと感じました。

また、めぶくIDは前橋市が使用していたものを活用し、めぶくID以外のアプリは江別市が開発したということでしょうか。

今後は「e自治会」のようなアプリが開発されて、私たち自治会がID登録して使用するといったものもよいのではないかと感じました。

これらのアプリの出だしとなるめぶくIDの登録を私ができなかったというのは少し残念に感じましたが、またチャレンジしようと思います。

●事務局

めぶくIDの登録については、市にも問い合わせがきております。

回答できる場合は市が回答しておりますが、詳細については、eダイアリー事務局が問い合わせ先となっております。また、機種によってはマイナンバーカードが読み取りにくい場合などもあるので、eダイアリー事務局か市にご相談ください。

アプリについては、めぶくIDは前橋市のものを活用しており、「eダイアリー」、「eライフトレーナー」、「生涯健康マルシェえべつ市場」は江別市独自で開発いたしました。

●川口委員

私はマイナンバーカードを用いる登録ではなく、仮ID登録を試みましたが、メールアドレスを入力しても認証メールが届きませんでした。

単純な作業なので、操作ミスということはないと思うのですが、登録できなかった事例なのでここで報告させていただきます。

●明神委員長

初期の故障やトラブルは早めに解消し、今後の展開にも支障が出ないよう対応をお願いします。

●北川委員

私はiPhoneでめぶくIDの登録ができましたが、今まで使用していたスマートウォッチの影響でeウォッチとiPhoneのペアリングがうまくいきませんでした。

そのため、昔のスマートフォンを使おうとしましたが、めぶくIDを昔のスマートフォンで登録してよいかわからず進んでいません。

また、めぶくIDの登録は難しくないと感じており、私の周りからも登録できたという話を多く聞いています。まれに登録できないという話も聞かれますが、イオンタウンに行って説明を受けたと聞いています。

説明してくれる窓口が市内にあることは大切であると考えます。

●明神委員長

ほかに何かございますでしょうか。

《質疑なし》

4. その他

●明神委員長

よろしければ、次に移りたいと思います。

「次第4. その他」について、各委員から何かございませんか。

●渡邊委員

今後の委員会の進め方なのですが、この推進方針を成案にまとめて一段落とするのか、推進方針の進捗は確認しながら、ほかの視点での取組みなどについても議論していくこととするのかお聞きいたします。

●事務局

江別市DX推進方針はこれまで皆様のご意見をいただきながら作成してきたところであり、今後はパブリックコメントを経て、7月に成案の報告をさせていただきます。

それ以降の委員会の進め方については、委員長にも相談しながら、次回の委員会までに整理させていただきたいと考えております。

委員のみなさまの残任期間はおよそ1年あるので、有意義な委員会にするためご協力をお願いいたします。

●布施委員

江別市DX推進方針の取組事項と工程表は毎年検証を実施するのでしょうか。

また、早まる可能性もあるのでしょうか。

●事務局

工程表の進捗状況は委員会で報告させていただきます。

進捗が早まる場合や、遅れている場合も委員会で報告させていただきます。

●明神委員長

工程表の一部実施とは既に実施中ということでしょうか。

●事務局

取組を一部進めているところもあるので、一部実施と表現しております。

●明神委員長

ほかに何かございますでしょうか。なければ、事務局より御報告をお願いします。

●事務局

次回、第2回の開催予定は7月頃を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

●明神委員長

ありがとうございます。只今の説明について、何かご意見・ご質問などございますでしょうか。

《質疑なし》

4. 閉会

●明神委員長

本日予定の議事につきまして、すべて終了いたしました。

以上をもちまして、「令和5年度第1回江別市未来型政策検討委員会」を閉会いたします。

本日はありがとうございました。